令和２年度　　編入学・学士入学試験

専門科目：簿　記　［問題用紙］

【注意事項】

1. 解答はすべて解答用紙に記入し，黒色の鉛筆あるいはシャープを用いること。
2. すべての受験番号欄に，受験番号を明記すること。

第１問

資本金勘定に記入される取引事項について，個人商店の場合と株式会社の場合に分けて記述しなさい。

第２問

以下の損益計算書（一部）における法人税等調整額は，貸倒引当金の設定に関して損金不算入となった額を表している。（　　）内にあてはまる法人税等調整額の表示金額および貸借対照表に計上される勘定科目の名称について示しなさい。

（単位：千円）

税引前当期純利益	100,000
法人税・住民税及び事業税	29,850
法人税等調整額	（　　）
当期純利益	70,650

第３問

福島商店における以下の取引について，仕訳を示しなさい。

(1) 当期首に営業用建物（取得原価￥6,000，減価償却累計額￥4,500）の工事をおこない，代金￥1,200は小切手を振り出して支払った。このうち￥800については，耐震強化のための支出と認められる。また，通常の修繕相当分については修繕引当金勘定の貸方残高￥150を充当すること。

(2) 新製品の設計を目的とした開発部門に所属する従業員の給与￥200について，所得税や社会保険料の合計￥20を差し引いたうえで普通預金口座から支払った。

(3) 先月上旬に，商品￥300（税抜）を郡山商店へ掛売りしていた。本日，白河商店が振り出した額面￥330の約束手形が裏書譲渡されて当社へ届いた。消費税等は10%とし，税抜方式により記帳している。

(4) 取引関係を維持・強化する目的で，会津商店の発行済株式5%を￥700で取得した。取得に伴う手数料￥10と合わせて，代金は２日後に普通預金口座から引き落とされる予定である。

(5) 広告宣伝業を営む磐城商店への代金支払のため，小切手￥50を振り出したものとして処理していた。ところが，期末まで福島商店で保管したままとなっていることが判明したので，修正仕訳をおこなう。

第４問

以下の［資料］にもとづき，金谷川商店（決算日：20X5 年３月末）の精算表を完成させなさい。
￥は千円を表す。元丁欄は省略している。また，本来は朱書きすべき箇所も黒色で記入してよい。

［資料］

(1) 期末時点で未使用の収入印紙￥5 を現金勘定で処理していたことが判明した。

(2) 当座預金勘定の帳簿残高と銀行の発行した残高証明書とを照合したところ，以下の差異が判明した。
(ア) 買掛金の支払いのために振り出した小切手￥190 が決算日現在，銀行へ呈示されていなかった。
(イ) 買掛金￥230 の弁済のために小切手を振り出した際，誤って￥320 と記帳していた。

(3) 売上債権の期末残高について，差額補充法により 2.5%の貸倒引当金を見積り計上する。

(4) 期末商品棚卸高の内訳は以下のとおりである。売上原価は「仕入」の行で算定してかまわない。
帳簿棚卸数量： 36 個　　原価　　：￥15／個
実地棚卸数量： 35 個　　正味売却価額：￥14／個
棚卸減耗損は販売費の区分に掲記し，商品評価損は売上原価に含めて処理すること。

(5) 保有する有価証券については，以下を参照して適切に処理すること。

銘　柄	保有株(口)数	帳簿価額	期末時価	保有目的
南福島株式会社	25 千株	￥74／千株	￥70／千株	売買目的
鳥谷野株式会社	20 千口	￥98.5／千口	￥98.0／千口	満期保有目的
舟場町株式会社	30 千株	￥80／千株	￥83／千株	支配目的

※鳥谷野株式会社の社債券（償還期限：20X7 年３月末）は，20X3 年４月１日付で￥98／千口で取得した。取得価額と債券金額との差額は，すべて金利の調整分と認められる。

(6) 仮払金￥800 は，期中にその他利益剰余金の配当をおこなった際に株主へ支払った配当金について処理したものである。なお，準備金の積立が未処理のため，会社法で定められた最低額を積み立てる。

(7) 備品の減価償却を 200%定率法（耐用年数 10 年，償却率 0.200）によりおこなう。過年度の償却計算は適切におこなわれている。

(8) 買掛金のうち￥525 は１ドル＝105 円の時点で生じたものである。期末の為替相場は１ドル＝100 円であったとして，換算をおこなう。

(9) 当期に納めるべき法人税等の額は￥450 であった。残高試算表に記載された仮払法人税等は，期中に中間納付したものである。

以上

令和２年度　編入学・学士入学試験

受験番号	ＨＫ

専門科目　：簿　記

第１問

	資本金勘定に記入される取引事項
個人商店の場合	
株式会社の場合	

第２問

法人税等調整額の表示金額	貸借対照表に計上される勘定科目の名称
千円	

第３問

(1)	(借)	(貸)
(2)	(借)	(貸)
(3)	(借)	(貸)
(4)	(借)	(貸)
(5)	(借)	(貸)

受験番号	ＨＫ

第４問

精　算　表

金谷川商店　　20X5 年 3 月 31 日　　（単位：千円）

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	380							
当座預金	3,750							
受取手形	1,450							
売掛金	1,950							
繰越商品	430							
売買目的有価証券	1,850							
仮払金	800							
仮払法人税等	200							
備品	5,000							
満期保有目的の債券	1,970							
子会社株式	2,400							
買掛金		870						
貸倒引当金		40						
備品減価償却累計額		1,800						
資本金		6,000						
利益準備金		1,440						
繰越利益剰余金		7,880						
売上		20,970						
仕入	8,190							
給与	7,620							
広告宣伝費	1,270							
支払家賃	1,740							
	39,000	39,000						
貸倒引当金繰入								
棚卸減耗損								
減価償却費								
為替（　　）								
（　　）利息								
有価証券評価（　　）								
未払（　　）								
（　　）								
法人税等								
当期純（　　）								